

【開講日】令和5年4月4日（火）

文学

0501006

楽しく読む万葉集

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	火曜日		日 程	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全5回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講 師	元武蔵野女子学院中学・高等学校教諭 上村 正人 （かみむら まさと）				
	1938年生まれ。1960年、東京学芸大学乙類国語科（漢文専攻）卒。同年武蔵野女子学院中学高校国語科教諭（古文・漢文・現代文担当）。2003年3月、同上校定年退職。その間、東京学芸大学名誉教授・故安良岡康作氏（中世文学・国語教育専攻）に師事し、日本中世文学を中心に研究。中世文学会、仏教文学会、解釈学会、日本文学協会にも所属してきた。なお、本学生涯学習講座においては、「西行の和歌」「徒然草（抜粋）」「方丈記」「奥の細道」「野ざらし紀行」「鹿島詣」「笈の小文」「更科紀行」「嵯峨日記」「百人一首」「伊勢物語」「西行の歌と人生」「紀貫之の文学（「土佐日記」「古今集）」」「和歌文学史入門」「十六夜日記」「とはずがたり」「建礼門院右京大夫集」「悲劇の女性たち―平家物語入門―」をとりあげてきた。				
内 容	「万葉集」（全20巻）は、わが国最古・最大の歌集です。中学・高校時代にすでにその中の和歌5～10首を勉強してきたことでしょう。でも、4,500首にも及ぶ沢山の和歌が収められています。こんないい歌がこんな身分（階級）の人によって作られたのか、とびっくりするような歌もあって、興味は尽きません。今回は、中級程度ということで、少し見慣れない歌も取り上げて読んでいこうと思います。ぜひ、楽しく勉強していきましょう。				
	持ちもの：① テキストは『万葉集』の角川ソフィア文庫・岩波文庫など。注釈のついていないものでも可。但し、国歌大観番号のついているもの。 ② 古語辞典。 ③ 配布プリント。				
① 4月4日：「万葉集」概観 ― その特色について ― ② 4月18日：「万葉仮名」の読解と上代文法（特殊な文法）について ③ 5月9日：歌謡時代から記述文学としての「万葉集」の成立過程 ④ 5月23日：「万葉集」時代区分とそれぞれの代表的歌人たち ⑤ 6月6日：第1期の歌人たちの歌とその解釈と鑑賞					

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



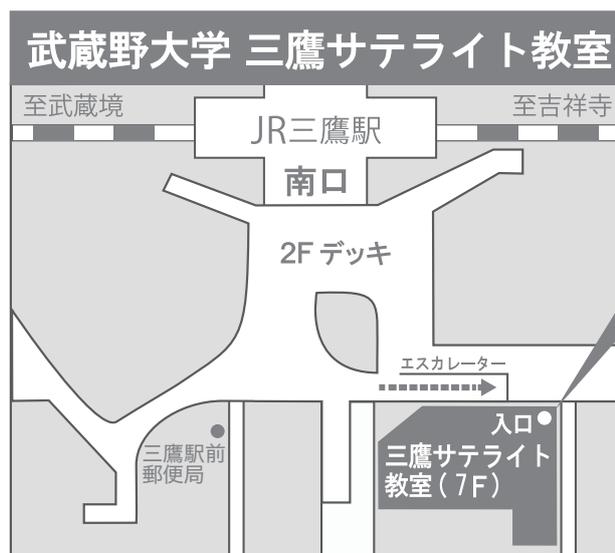
武蔵野大学



武蔵野大学社会響創センター
〒202-8585 東京都西東京市新町 1-1-20
TEL:042-468-3222
月～金（祝祭日除く）9:30～16:30
エルエルエス
<http://lls.musashino-u.ac.jp/>

武蔵野大学 生涯学習 検索

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。

《徹底のお願い》

☆マスクは清潔な不織布で、鼻口を覆ってください。